

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人グローイングピープルズウィル

1 事業の成果

杉並区およびその周辺にお住いの視覚障害者に対して支援の質・量ともに拡大した。

1). 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

相談員は理事長、常勤職員の2名。相談利用者は130名程度。

視覚障害者支援の事業所として杉並区からの信頼が厚く、年々、相談利用者が増加している。利用者に対して公的サービスだけでなくインフォーマルなサービス情報も提供することで、利用者のQOLをあげている。コロナの影響でモニタリングは電話で対応できたが、5類になるとこの措置は終了となる。

2). 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

同行援護事業を行っている。利用者は100名程度。ガイドヘルパーは常勤を含めて50名程度稼働しているが、慢性的なガイドヘルパー不足は続いている。また、事業所機能が限界に達している。

移動支援事業において、世田谷区・杉並区の障害児の通学を支援している。

3). 道路運送法に基づく福祉有償運送事業

今年度も助成金を申請できる最低ラインである500トリップを達成し助成金（約130万円）を受けることができた。同行援護事業を補完する事業として位置付けている。

タクシーアプリを利用できない高齢視覚障害者の足となっている。この事業の認知度は低く、アピールの必要性は高い。

4). まちづくり事業

セシオン杉並 大規模改修 移動円滑化計画を内藤設計事務所から受託した。

JR国分寺駅北口に方向定位ブロックを敷設した。

ICTを活用した移動支援事業を杉並区と共同で行った。

5). 発展途上国の就学困難児童を支える事業

最後の1名 フィリピンの就学困難児童(1名)の支援が終わり、当法人としてはこの事業は終了する。

6). 視覚障害者の生活を豊かにする事業

・高齢視覚障害者のためのストレッチ教室をゆうゆう今川館において月に2回のペースで行っている。参加者5名程度

・板書しないフランス語教室を月に1回開催している。NPO法人エルブから教室提供を受ける。参加者6名程度

・高齢視覚障害者の健康増進のため、音楽療法を取り入れた集いの場を2か月に1回開催した。講師はロービジョンの当事者 参加者6名程度

・ファミリーの会の協力で視覚障害者の社交ダンスを天沼集会室で月に2回のペースで行っている。参加者 4名

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 65,657】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
障害者総合支援法に基づく特定事業	障害者に対して、サービス等利用計画を作成し、福祉サービスを効率よく提供し、障害者の生活を支える。	毎日	杉並区 新宿区 中野区 練馬区 小金井市	2名	実施地域 在住者 視覚障害者	約140名	11,765
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	杉並区、その周辺にお住いの視覚障害者に対してガイドヘルパーを派遣する。	毎日	杉並区及びその周辺自治体	50名	実施地域 在住者 視覚障害者	約100名	47,628
道路運送法に基づく福祉有償運送事業	視覚障害者の足として活動している。	随時	杉並区内 発着	4名	実施地域 在住者 視覚障害者	約40名	3,957
まちづくり事業	自治体から移動制約者に配慮した設計を請け負っている。	毎日	杉並区	1名	—	—	754
視覚障害者のに生活を豊かにする事業	視覚に障害があっても楽しめるイベントを定期的に開催し、孤立しがちな視覚障害者(特に高齢視覚障害者)の地域生活を後方から支える。	第1.3火曜日 第2土曜日 第1.3木曜日	ゆうゆう今川館 NPO法人エルブ 天沼集会室	3名	実施地域 在住者 視覚障害者	約30名	50
発展途上国の児童就学困難児童を支える事業	1名のフィリピン児童を1年間支援している。	随時	フィリピン NPO法人アクション	1名	フィリピン児童	0名	0

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)